

2023 年春学期語学留学/アデレード大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

主にリーディングとスピーキングの授業で分かれていて、教科書に沿って授業がありました。リーディングの授業では単語も一緒に学びました。スピーキングの授業ではプレゼンテーションを一人、そしてペアでも行いました。私の選択した自由選択授業では課外授業が主に行われていました。

授業形態は、先生によってさまざまでしたが、PP やプリント、教科書を使用する先生が多かったです。

どの授業もクラスメイトとディスカッションやコミュニケーションを取る時間がとても多かった。

先生1人に対し15人ぐらいの学生数で授業を受けていました。自発的に発言しないと置いていかれた。

一日4時間の授業で、ライティング・リスニング・スピーキング・リーディング・選択授業の5つがそれぞれの曜日にありました。

無理にすぐに進むことなく、優しく先生が英語で教えてくれました。

月曜日は reading, 火曜日は speaking, 水曜日は listening, 木曜日は writing, 金曜日は選択授業でした

先生が準備してくれているプリントや教科書を使っての授業や他のクラスと合同で会話の練習など。4 時間授業でしたが途中で15-20分の休憩をします。その時間以外はずっと問題を解くか他の学生と話し合ったりして授業に参加する。

All English でネイティブの先生が授業を進めます。みんなでコミュニケーションを説教句的にとる機会を授業で与えられます。

授業は月～木までは最初にウォーミングアップとしてゲームのような頭のトレーニングをしてから教科書を使って授業を進め、それプラスで曜日に合わせた授業をしていた。4 技能を月～木にそれぞれの日に重点的に学ぶようになっていた。金曜日は自由に選択できる授業として 4 つの中から好きな授業を 1 ターム 1 回選び参加するようになっていた。

reading, listening, writing, speaking に分けられていて長文をやったり、リスニングの問題をやったり、report を書いたり、プレゼンをしたりした。

月曜から木曜は曜日ごとに4技能学んだ。Speaking の授業では2週間に一回 Presentation があった。Reading は先生から用意されたプリントや教材を使って Vocabulary や Grammar を Group Work をしながら学んだ。Listening は日本でも同様聞いて問題を解く。Writing はまず、書き方から教わった。外大で学んだ形式よりも細かく教えてもらった。そして、先生が出すお題に沿って書く。金曜の授業は選択授業で私は Australian Studies という授業を取った。アデレードの町を探索してオーストラリアの文化や特色を学んだ。

午前と午後の 2 部制でどちらかの時間からの授業。席は何人かのグループで座りペアワークやグループワークが主。

週 5 日(土日祝休み)で学校に通っていました。日本でオンラインテストを受け、学力別にクラス編成されました。授業では初めにウォーミングアップなどがあるので、英語に自信が無い方でも楽しんで授業を受けることができます。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は 20 人ほどでクラスの半分ぐらいが日本人で半分が外国の出身でした。日本以外の留学生の出身国は、韓国、東ティモール、中国、コロンビア、マレーシア、ベトナムの留学生がいました。

クラスの人数は15人ぐらいで、1ターム目は4:1で日本人のほうが多かったです。2ターム目は、2:5で海外の学生が多かったです。クラスメイトの出身国はインドネシア、中国、台湾、ベトナム、東ティモール、韓国、タイ、コロンビアなどでした。

1クラス約 15 名程度。前期のクラスはほぼ日本人、その中にサウジアラビア、マレーシアの留学生がいた。後期のクラスでは日本人が減り、ベトナム、コロンビア、タイ、韓国の留学生がいた。

15人ほどの学生数、日本5:他国学生5という割合。コロンビア、ティモール、韓国、中国、台湾、ベトナムといった国から来ている学生が多かった。

前半のクラスは14人。日本人12人(そのうちの10人が外大生)とサウジアラビア人とインドネシア人がいました。後半のクラスでは18人。外大生6人と東ティモール人が数名と台湾人、中国人、ベトナム人などがいました。
日本人 6 外国人 4。国は、韓国人、サウジアラビア、タイ、ベトナム、コロンビア、中国です。
受けるタームにもよりますが、1 回目のタームは 9 割日本人で一人サウジアラビア人と途中からインドネシア人。2 回目のタームは 3 割日本人で、韓国人、ベトナム人、タイ人、コロンビア人、サウジアラビア人がいた。
私のクラスは東ティモール出身の方が 4 人日本人 6 人サウジアラビア 2 人中国人台湾人が 1 人でした。
初めのタームは日本人がほとんどで次のタームでは 7 割海外の学生でした。ティモール人、中国人、ベトナム、サウジアラビア、台湾など
私のクラスの人数は全員で 16 人いた。半数ぐらいが日本人で残りがベトナム、中国、韓国、サウジアラビアの学生で構成されていた。
1 term 目は日本人が多く、日本人 10 人とサウジアラビア人が 1 人、インドネシア人が 2 人のクラスでした。2term 目は日本人が 6 人、東ティモール人が 6 人、中国人が 2 人、台湾人が 1 人、サウジアラビア人が 2 人でした。
私のクラスでは、一回目の Term の時は日本人が半分以上を占めており、違う学校から来られている日本人学生もいた。また、その他にサウジアラビア人やインドネシア人もいた。二回目の Term はクラスのレベルが一つ上がったこともあり、日本人と外国人留学生の比率は半分だった。東ティモールやベトナム、中国などから来ている学生もいた。皆、年齢はバラバラで年上の人が多いと感じた。
クラス人数(約 17 人) 比率(6:4) 国(中国、ベトナム、韓国、コロンビア、東ティモールなど)
日本人は関西外大から 15 人その他に、10 人ほど。東ティモールの方の割合が多かったです。その他にもコロンビア、中国、韓国など。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

それぞれが先生の問いかけに対して発言して、活発でとてもみんなの仲がいいクラスでした。誰かがこもっている時は即座にフォローしたり、間違ったらどうしようなどの不安なしに思ったことをすぐ言えたり、先生にその場で質問したりしていました。また、先生との距離が近く、週末どこに行ったか何をしたのかなどをみんなで共有していました。
発言しやすい雰囲気で先生に質問しやすかったです。
誰もが発言しやすいような雰囲気だった。
和気あいあいとしていて質問や発言しやすかった。
日本以外の国からの留学生は積極的に英語で発言をしており、わからないことがあればためらうことなく質問をしていました。グループでのディスカッションの時も不十分な英語力でも理解をしようとする姿勢で話を聞いてくれました。クラスの雰囲気はとてもよく、みんな仲が良かったです。また、授業中であっても、水筒に水を入れに行ったり、お手洗いや電話をしに行く人もいて、緩い雰囲気でした。
授業中にご飯を食べても携帯触っても何も言われな
能動的な授業、みんな自ら発言している点が受動的な授業の日本と一番違う点だと思った。多文化のクラスではいろいろな国の友達の考え方の違い、雰囲気、もちろん 4 時間ずっと英語で会話するクラスだった。
明るくフレンドリーな方が多かったので楽しく授業を受けることができた
にぎやかでみんなで楽しく会話やゲームができます。
フレンドリーなクラスで協力しあい、言葉の壁を特に感じなかった。間違ってもフォローしあえる環境でとても居心地が良かった。
先生によって違いました。校外ワークが多い先生もいれば、教科書ばかり進める先生もいました。クラスメイトはみんな仲良く先生も優しくかったです。
日本の授業よりも Group Discussion や Presentation が多く話す機会が非常に多いと感じた。外国人学生はとても積極的で自由に発言をしていた。一方、日本人は外国人と比べて消極的だった。しかし、クラスみんな仲が良く、年齢気にせず会話していた。また、教材はあまり使わずゲーム感覚で英語を学ぶことも多かった。
ディスカッションや、ペア、グループワークが毎日ある。グループで座って勉強しているので友達と意見交換がしやすい。
多国籍で、みんな仲良く居心地いいクラスでした。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

世界の偉人の言葉を考える時間があつたのですがその授業の時間が一番印象に残っています。

女性差別や多様性について

オーストラリアのスラング事情

世界の発明品

オージースラングの授業。これは先に先生にスラングを習って使ったりしてみた後に、外に出て二人一つのグループになってオージーに話しかけよく使うスラングを聞いたりなんのソーシャルメディアでスラングを目にするかなど街中インタビューをしたのがとても印象に残っている。

動物・宇宙

教室の外に出て知らない人にインタビューをするという授業でした。日本ではそういう授業がないので楽しかったです。

環境問題・異文化コミュニケーション

自分の恋愛話を話し合ったこと。

宇宙についての授業。教材だけで学ぶのではなく、実際にそれに関連する Museum にも行き、見て感じることができ、とても楽しく英語と宇宙について学べた。

世界の謎に満ちた歴史的な場所

ゲーム形式のワードテストや、リスニングなど。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

先生が言ったことでわからないことがあつたら先生や友達に聞いたり、とにかく聞き漏らさないように理解することを頑張りました。それから、ノートに自分が大事だと思ったことをメモしたり、難しいと思つたところには印をつけて、テストの時にわからないところがないようにすることを努力しました。

積極的に発言する、先生とコミュニケーションをとる

積極的に英語で会話をすること

課題を丁寧に時間をかけてすること、わからない単語をすぐ調べてすぐにメモすること。

ディスカッションやグループでの話し合いの時に自分の意見を積極的に述べるように努力していた。

積極的に英語でコミュニケーションを取ること

授業中はとにかく英語を話すこと。ターム 1 は 9 割日本人だったのでもちろんグループも日本人でしたが意識高く英語で話したり、ターム 2 は日本人のいないグループに入り 4 時間完全に日本語をシャットダウンしていました。

なるべく同じ大学のことペアを組まず違う国の方とペアワークをしたり、できるだけ翻訳機能を使わないように努力をしました。

わからない単語や文法は忘れる前に調べてノートにメモっていました。そのあと寝る前とかに復習していました。

会話の中で分からない単語は、減らそうと単語を頭に詰めた。翻訳機に頼ることなく、分からないときはジェスチャーや意味の近い単語を使って説明をした。

わからない単語はメモして覚えたり、できるだけ外国人とコミュニケーションを取るために自分から話しに行ったり、どうしたら伝わりやすいかを考えながら話したりすることです。

はじめは聞くことと話すことを意識した。先生や他の外国人学生も親切に接してくれたので自信を持ってコミュニケーション出来たと思う。一番努力したことは Writing。なかなかスコアが伸びず、苦労した。しかし、自分で文章を考え、そのあとに、オーストラリアで出会った友達に見てもらい、訂正して、という工程を繰り返した。

日本人留学生とも英語で会話すること。先生が言った単語や文を繰り返しリピートすること。

その日の授業の進出単語や、分からない問題などはその日のうちに復習するようにしていました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	私の部屋の目の前に、二学期が始まる前にベトナム人の留学生が来ました。	バス	15-30分
0人		バス	30-45分
0人		電車	45-60分
2人	台湾から来た同じ大学の女の子と、ホストマザーの姪っ子	バス	45-60分
1人	東ティモール人	バス	45-60分
1人	ベトナム人	バス	30-45分
0人		徒歩	15-30分
0人		バス	15-30分
0人		バス	30-45分
2人	ベトナム	バス	30-45分
0人		バス	30-45分
2人	ベトナム人	バス	15-30分
0人		バス	45-60分
0人		バス	45-60分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
寝具とクローゼット、机と椅子、大きい鏡がついた収納棚が用意されました。	自分で用意したものは、スキンケア用品とタオル、シャンプー、水筒など生活用品は自分で用意しました。
机、ベッド、クローゼット、電気	ゴミ箱
ベッド、勉強机、大きな鏡、棚	髪が痛むのが怖かったので、シャンプーとリンスは日本の物を持参しました。スリッパは必須です。
ベッド、机、椅子、ライト、クローゼット、洋服掛け、スリッパ、ハンガー	ティッシュ
ベッド、枕、勉強机、鏡付きのクローゼット、ベッドサイドランプ、ゴミ箱	シャンプー、コンディショナー、ボディーソープ、ドライヤー、衣服、筆記用具
ベッド、布団、机、椅子、洗濯のかご、ハンガー	バスタオル、歯磨き
ベッド、クローゼット、後は部屋の奥に部屋にトイレとバスルームがあった	ドライヤーだけ
ベッド、クローゼットなど	日用品(シャンプーやメイク落としなど)
二段ベッドと普通のベッドとクローゼット。	ヘアドライヤー、服(パジャマや普段着)
ベッド、鏡、机、椅子、コンセント、ハンガー、棚	シャンプー・リンス・ボディーソープ・変換器・衣服・雨具・筆記用具・洗濯ネット・手袋・コンタクトレンズ・薬・お金・歯ブラシ・パソコンなど
ドライヤー、コンセントの変換器、付箋、ホッチキス、延長コード	ヘアアイロン
ベッド、机、クローゼット	シャンプー、リンス、ボディーソープ、美容類、ヘアアイロン、ドライヤー、コンセント、SIMカード、ホームステイ先へのお土産、機内伯での首枕、PC、PCや携帯の充電器、歯ブラシ、服、靴、鞆、日本のインスタント食品やお

	菓子、ホームステイ先で履く用のスリッパなど。
タオル、ハンガー、ドライヤー	ティッシュ
バスの時間表の冊子、ペン、机、ヒーター、ライトなど。	ドライヤー、防寒着など。

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

私の滞在したホームステイ先がフィリピンの方のお家だったのもあり、家ではスリッパを履いたり大きな違いはありませんでした。日本と違うなと思ったところは、大きな庭で家庭菜園をしていたり、バナナの木が植えてあったり、朝からオウムの鳴き声で起きたりすることでした。また、家に訪ねてくるホストマザーの友達がたくさんいたことに驚きました。

浴室が2個ある、お昼ご飯を自分で用意する

靴のまま家で過ごすこと。部屋に暖房がなく、とても寒かった。変圧器を持っていくのを忘れてしまい、自分で持参した日本製のヘアドライヤーを変換器と繋げて乾かしているとオーストラリアの電圧が強すぎて壊れてしまった。

洗濯が週に一度であったことと、生活習慣がとてよかったことに驚きました。夜ご飯はいつも6時からで、10時くらいには消灯していました。

シャワー時間が短い、門限が早い

オージーは寝る時間が早いこと。何もない日だと9、10時にはベッドに入ったりする。

シャワーの時間が決められていたこと(5分)洗濯する日も決められており週1回でした

土足 OK、家がすごく暖かいこと、風呂入る時間を少し制限されること

晩御飯の時間が早くて授業が遅くなるとホストファミリーとご飯を食べられなくなる時があった。

洗濯してもらえるのが週一だったので着た服を溜めていくことに違和感があった。お風呂はなくシャワーだけでシャワーは五分以内というルールがあった。5分すぎても何も言われなかった。

バスルームがトイレと一緒にあったので、誰か一人お風呂に入ってしまうと、その間はトイレできなかつたり、誰かが使用していると、バスルームで行う身支度などが遅れてしまうことがある。

シャワーの時間が10分以内と決まっていたこと。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストマザーやその家族にその日の予定を朝ごはんの時に伝えて、不安にさせないことが大事だと思います。そして、夜ご飯の時はその日あったことをたくさん話して共有していました。また、何か困ったことがあれば一人でどうにかするのではなく、すぐにファミリーに相談して助けてもらうことが大切だと思います。

ホストファミリーとしっかりコミュニケーションをとる、断るときは断る

部屋ですずと靴で過ごすのは足がしんどいのでスリッパを持っていくことは必須です。変換器を一つしか持って行かなかったため、一気にパソコンや持ち運び充電器、スマホを充電することが出来なかったためいくつか持っていくことをお勧めします。

清潔さが気になったら誰かがする前に進んですること。

自分の好きなものや嫌いなものは正直に伝えると良いと思います。一度好きと言ったものは何回も食卓に並ぶようになり快適でした。また、自分の生活スタイルなども伝えておくと、それを尊重してくださるので良いと思います。

ホストファミリーとのコミュニケーションを取る

意見をはっきり伝える

小さなことでもすぐに聞くこと。

積極的であること、顔色を窺わない(いい意味で)

できないことはできないと言い、しんどい時はすぐに周りに相談する。

基本的に相手に合わせる気持ちを持った方がいいと思う。どうしても不満があれば伝えるべきだと思う。

自分から積極的にホストファミリーやルームメイトと話し、出来るだけ多くの時間を共に過ごすこと。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	はい

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
こどもの日フェスティバルで焼き鳥などの食品を提供したり、子どもたちに声をかけてイベントに参加しないかを聞いて回ったりしました。また、学校のプログラムで AFL(Australian Football League) を観戦にいきました。また、海外の留学生と交流する会にも参加しました。	学校が終わってからは目の前にあるアーケードを通り抜けた先にある通りで買い物をしたりしていました。また、バスを使ってモールまで行き、映画を観たりしました。施設ではないのですが、よくトラムを使って無料ビーチまで行ったりしていました。
ボランティアや現地の大学の日本語サークルに参加、語学学校のイベントに参加したりもしました。	大学で友達と宿題をしたり、ビーチが近かったのでビーチによく行きました。
こどもの日フェスティバルという日本の魅力や食文化を伝えるイベントでボランティアをしました。私は料理をお客様に渡す役割を担当しました。また、一度だけですが大学の日本語クラブにも参加しました。	学校の目の前にアーケードがあり、その付近で買い物をよくしていました。また、学校近くのカフェもよく利用しました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
留学に行く前に少しでも英語が伸びるようにユーチューブでリスニングをしたり、高校で使っていた単語帳を見返していきました。また、先輩が書かれた留学レポートを見ながら必要なものを買いました。
語彙力を上げるために単語帳を見ていました。
単語の勉強とリスニングを中心に勉強していました。リスニングについては、洋画を英語と日本語の同時翻訳をつけてみるのが効率が良かったと感じています。

私はとにかく映画や海外のドラマを英語字幕で見て会話表現のレパートリーを増やしました。リスニングの強化にもつながります。

スケジュールを考えて、学習達成目標を作った。

留学前にしておけばよかったと思う準備

早寝早起きの習慣をつけて、早くシャワーを浴びる練習をした方が良かったなと思いました。私は友達によく助けてもらったのですが、パソコンの操作は慣れておいた方がもっと課題をスムーズにできたなと思っています。

writing を取り組んでいたら、もう少し授業でスムーズにできたかなと思います。

普段の英会話で使えるフレーズを沢山覚えておけばよかった。

貯金

英語の発音と文法をもっと勉強しておくべきだと思いました。特に発音は授業でほとんど習わなかったもので、事前に準備をしておけば、もっと相手に伝わるだけでなく、英語を話すのを恥ずかしがらずに済んだと思います。

日本語でよく使うフレーズなどを英語に変えて使えるようにする。日本に居てもオーストラリアに居ても口癖や好きなトピックは変わらないから出番が来た時にすぐに話せると困らないと思う。

文法面の復習。

リスニングの勉強と現地の文化

現地の文化を調べるべきだった。

勉強。やっぱり秋学期のテストが終わったら留学までの間学校もないのでその時に Skype をして Speaking を鍛えていたりすればよかったなと思う。

あとは留学する一年前ぐらいからアルバイトなのでお金を貯めておくこと。物価が異なりすぎてすぐにお金が無くなった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本から持って行って役に立ったものは、文房具と充電器と SIM カードとヘアトリートメントです。また圧縮袋は必須でした。ホストシスターにプレゼントした文房具はとても喜んでくれました。

ドライヤー、洗顔、たくさんの下着

スリッパ、洗濯ネット

水筒、日本のお菓子、インスタント

日本の茶やみそ汁を持っていくと喜ばれました。また日本から持ってきたスキンケア商品やシャンプーなどは役に立ちました。現地で日本製の物を買おうとすると2倍の値段するので持参するべきです。

日本の食べ物。

日焼け止め・クロックス・お茶

ホストファミリーがモバイル充電に感動していたので、あげました。

私はホストファミリーに新茶と湯呑をプレゼントして、ホストマザーはお茶が好きだったので喜んでいました。また、日本のアニメのものや、ジブリはオーストラリアでも人気なので、そういった物を持っていくと喜ばれるし、話の話題になると思う。

シャンプー、コンディショナー、ホットアイマスク、薬、化粧品

日本から持っていく必要のなかったもの

コンタクトの洗浄液は現地でも買えるので持って行かなくても良かったなと思いました。洋服もそんなにたくさんいらなと思いました。また、化粧品も必要最低限に抑えた方がいいと思います。

ヘアドライヤー、洗濯洗剤、ハンガー

日本から持参すればよかったと思ったもの

特にありません。

米	水筒、日本のお菓子、インスタント
タオル。念のために数枚持っていきましたがホストファミリーが自分用の物を用意してくれていたので一度も使用しませんでした。	ドライヤー。ホストファミリーも毎日使っているので言えば借りることができましたが、シャワー室が個人で別々で毎日聞いて借りるのも申し訳なかったので、結局自分用に購入しました。
大量の服や靴。絶対に現地に着いたら現地の店で買い物するから帰る時に大変。	
日用品、服	
電子辞書・単語帳	新しくできた友達にあげる用の日本のお土産
ヘアドライヤー。ある程度の家には用意されているので荷物の邪魔になると思う。	
白ご飯	シャンプー、コンディショナー

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカードは2枚持っていきました。VisaとMasterカードを持っていけば問題ないと思います。現金も持っていきました。	カードは2枚持っていったらどちらも限度額が10万円だったので合計で20万円使えるようにしていました。オーストラリアは基本カード払いだったので現金は2万円分日本から持っていきました。
クレジットカード、現金	現金3万円
クレジットカード	
クレジットカード、現金、デビットカード	クレジットカード上限10万円を2枚、デビットカード20万円、現金5万円
現金500ドルとクレジットカード2枚	5万円とクレジット上限10万を2枚
大体はカード	現金は4万ほど。カードは上限20万。
8万円分をオーストラリアドルに換えて他はクレジットカード	クレジットカード15万ほど、現金8万ほど
クレジットカードを使える店が多かったため現金を使う機会はあまりなかった。現金は日本の空港で準備した。	クレジットカード上限30万・現金10万円
現金10万円分のオーストラリアドル自分のクレジットカード家族のクレジットカード	クレジットカード上限20万現金10万円分のオーストラリアドル
オーストラリアはキャッシュレス化が進んでいるので私はクレカに多めに現金を入れていた。しかし、友達と外食やテーマパークへ行く際は、割り勘が多くあるので現金も多めに用意した方がいいと思った。	現金5万、クレカ30万。
現金少し、VISAカード	クレジットカード(上限50万円) 現金(約3万円)

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

食費: 全部で8万ぐらい(外食)
ホームステイの為、住居費は現地で払っていません。食事は基本ホームステイ先で食べていたが友達と外食をよくしていたので約5万円。
食費10万
外食では約3万円。
食費は6~7万円くらい使った気がします。

外食をした分では、正確には分からないが3万以下だと思う。
食費(1ヶ月約2万円)
友達とランチに行く場合は1食20ドル(2000円ほど)かかりました。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

通学費は2万円行かないくらいでした。テキスト代は費用に含まれているので分かりません。
メトロカード5000円くらい
2ヶ月半で通学費は1万円程度。
通学費は2万ほど
テキスト代は留学前に支払い済み。通学費は10週間で約1万7千円ほどだったと思います。
バスの定期代は28日間使い放題を2回と14日間使い放題を購入して大体1万5千ぐらいだったと思います。
通学費は大体15000円
通学費用はバスで約2万円。
交通費15000円。
2万弱。
買い物(約3~4万円)
テキスト代はかかりません。交通費は28dayフリーパスで57ドル(6千円ほど)でした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

旅行代や移動費、食費を合わせて5万円ほどかかりました。買い物には3万円ほど使いました。
10万円くらい
約20万
30万くらい使いました。
旅行やお出かけ、外食で約25万円ほど使用しました。
留学中に計20万使った
衣類、食費など色々合わせたら15万ぐらい
20万ぐらい
約10万円
飛行機を使った旅行、外食、服などを買って26~27万つかった。
旅行では約6万。その他、外食、日用品、お土産などで20万
1ヶ月6万~9万円ほど。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

前から人見知りせずコミュニケーションが取れる方だったのでそんなに多くは変わっていないのですが、人前にでて発表する時に前のように緊張しすぎることはなくなったかなと思います。また、会話をする時に英語で聞いてそのままの英語で理解をして英語で返すことができるようになりました。
以前よりも早く英語を発せられるようになったと思います。

英語を自ら進んで話すことが恥ずかしくなくなった。
リスニング能力が一番伸びたと感じています。コミュニケーションをとる時も日常会話を使うことができるようになったと思います。
最初は本当に話も聞き取れないし、言葉も出てこないし大変だったけど、聞く力はその人の英語を聴きまくれば耳も慣れてくるので聞き取れるようになるし、話す力は文法と発音の間違いを何も気にせずに思いを出てきた単語でなんとか文章にして作って思いを伝える。そしたら伸びていった。
語学力、コミュニケーション能力共に行く前に比べてだいぶ上がりました。クラスメートやホストファミリーとの会話はもちろん街中での小さな会話や店員さんとのコミュニケーションも積極的になりました。
リスニング力が少し上がった。日常生活で使う会話や相槌を知れた。
留学する前と比べて少しは上がった気がする。だけど、自分が思っていたよりかは身につかず、もっと積極的に話しかけたらと後悔もある。コミュニケーション能力は授業内でグループワークが多かったので、スキルは上がったと思う。
ホームステイ先でのホストファミリーとの会話で自分から話しかけたり、意見を言うことが始めは難しく、「Yes」と言った後黙ってしまっていたが終わりになるにつれて会話のスピードにも慣れ、ホストファミリーと会話できるようになった。

留学前の目標とその達成度

留学前はとにかく英語に慣れて日常会話を不自由なく話すことが目標だったのですが、この目標はクリアできたと思いました。特にホストマザーから上達したねと言われたことから自分の英語に少し自信ができました。また、もう一つの目標であった、たくさん友達を作るという目標も達成できました。
現地で友達を作る、積極的にイベントに参加する一達成度80%
私はその土地の環境に慣れ親しむことが目標でしたが達成したと思います。
日常会話レベルの聞き取りとスピーキングをできるようになりたかったが、達成できたと思う。
留学前は、恥ずかしがらずに英語を話すのが目標でした。留学中は英語を話さないとホストファミリーや海外の学生たちと会話ができないので、会話手段として英語をたくさん話しており、留学前の目標は達成することができたと思います。
留学前の目標はネイティブと話せるようになる、そして達成率は75%かな。理由はホストファミリーとは何も問題なく話せるけど、全て正確に聞き取れるようになれたわけでは無かった。後は、9週目にネイティブ6人と私でディナーを食べて話す機会があったけどグループになると40%しか聞き取れず会話に入っていくのも難しかった。
留学前の目標はできるだけ海外の友達を作って話すという目標でしたが、学校のクラスメイトやホストファミリーが連れて行ってくれた誕生日パーティーなどでたくさん友達を作ることができた。
目標は異文化や海外の接客の仕方などを知ること、積極的に動く力をつけることで、クラスメイトや先生、ホストファミリーと暮らす中で自然と文化の違いを知ることができた。また、自国での暮らしについて質問したりして知識を得ることができた。自分から動けばその分海外の友達が増えて人と繋がれることを実感し、たくさん友達に話しかけに行くことができ仲良くなれた。
留学前はもっと話せるようになって、オーストラリア人の友達が出来て、より充実した留学が出来ると思っていた。しかし、積極性が足りず自分から話しかけることが出来ず、思っていたよりも英語はペラペラに話すことが出来なかった。しかし、日本では学べないことをたくさん学べて、とてもいい経験になった。そして留学前よりも自分の英語に自信が持てるようになった。
目標(日常会話が困らないぐらいできるようになる) 達成度(7.7/10)

留学を通しての成長ポイント

留学を通して、英語を話すときにどんな人が聞いても分かりやすい英語で話すことができるようになったと思います。そして、前までは人前で発表する時緊張しやすかったのですが今は前のように緊張しすぎることがなくなったかなと思います。そして、留学してすぐはオーストラリアの訛りやクラスメイトの英語の訛りに困惑することがあったのですが、だんだん慣れてきてある程度の訛りがあってもその人たちが話す色々な英語の訛りに対応できるようになったと思います。
independent skill が向上しました。私は実家暮らしなので自分でご飯を用意したり洗濯する機会がなかったので留学にきてそのスキルの成長を感じま

した。また、留学に来る前と比べて積極的に英語でコミュニケーションをとることができました。
英語を聞き取る力が伸びたと思います。
相手のバックグラウンドに配慮してコミュニケーションをとる能力
英語を使うことへの抵抗力がなくなり、新しいことへ挑戦することへの恐怖心が少し減りました。
自信に満ち溢れている。理由は異国の地で3ヶ月も生活をし、知らない英語しか話すことのできない人と住んだり、たくさんのお会いがあり、いろんな人とも話したし、日本ではできない経験もたくさんしたし、きつかったけどその分楽しかったしその経験全てが今自信に繋がっている。
コミュニケーション能力が成長したと思います。
多様性を受け入れ相手と接する力と、自分から行動しようという意識と実行力、英語力
Listening と Speaking。はじめはあまり理解できなかった先生の英語も徐々に分かるようになり、授業もスムーズに行えるようになった。テストでも Listening が一番高くスコアで自分の成長を感じる事が出来た。Speaking では毎週月曜日にプレゼンや発表があったり、グループワークなどで Speaking 力が身についたと思う。
完璧に英語がわからなくても、なんとか伝える力。他の単語や言い方に言い換える力。
私はこの留学で語学力はもちろんですが、コミュニケーションの大事さを学びました。私はホストファミリーと上手いかずホストチェンジをする事になりました。理由はコミュニケーション不足です。この経験からコミュニケーションの大事さを学び、自分の想いを伝えること、相手の気持ちを思いやることの大切さを学びました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前はとにかく英語を話して英語耳にしたいと思っていて、実際留学してみると聞き取ることプラスで自分の思っていることを言わなければならなかったのが伝えることに難しさを感じました。なかなか自分が思っていることを正確に伝えることが難しかったので、留学を終えた今の方が英語に対するモチベーションが上がりました。
留学中が一番英語の語学学習に対するモチベーションが高かったと思います。現地の人と触れ合うことで自分の語学力の低さを痛感しそれがモチベーションにつながっていました。
留学前は特に英語に対してのモチベーションは無く、留学中に自分の英語力の無さを再確認することができもっと沢山のひとと会話をしたいと思い、沢山の英語を吸収しました。留学後はもっと英語を話せるようになりたいという気持ちがとても強くなりました。
英語を勉強したいという自発的な気持ちから、たくさんの人と話したいから勉強して語彙を増やさないとという気持ちに変わった。
留学前もモチベーションは高かったが、留学中は周りの英語力に圧倒されてモチベーションが上がっていました。留学後も継続的に英語の勉強しており、モチベーションは継続されています。
私のアルバイト先には観光客がよく訪れるのですが留学前は英語は理解できますが相槌だけで積極的に話しかけることはなかったのですが留学後バイトをしていていつものように観光客が訪れた際最初から最後まで相槌だけでなく会話をする事ができたので、もっと会話したいと思うようになったのでさらに英語を勉強しようというモチベが上がりました。
留学前は自分が困らないようにという気持ちと親がせっかく行かせてくれるので頑張ろうという気持ちがモチベーションだったが、留学中や留学後では、英語を勉強として捉えるのではなくコミュニケーションのツールとして捉えるようになり、知らないといけないという気持ちから知りたいと思えるようになり、自然と興味や意欲が出てそれが学習に繋がった。
留学前、留学中、留学後と語学学習に対するモチベーションは徐々に上がった。今回の留学では自分の積極性が足りなかったり、人見知りな部分で後悔してしまうことがあったので、今回の留学での経験を通して、もっと語学学習に励み、次留学する際は悔いのないようにしたい。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

2学期にあったライティングのテストと、即興で行ったスピーキングテストで自分の力を振り絞りました。ライティングのテストはその場でトピックが発表されて、難しいものだったのですが紙に自分で書かないといけなかったのが自分が伝えやすい英語を振り絞りながら頑張りました。また、スピーキングテ

ストでは即興で小さいメモしか見ていけなかったので、クラスメイトや先生が見ている前で自分が知っている英語をフル活用して頑張りました。
現地の見知らぬ人に話しかけるとき
プレゼンテーション
毎日。特に私のホストファミリーは私とよく会話をしてきていたので、どんなに朝起きたてで頭が働いていなくても、無理やり働かせる必要があった。
最後のプレゼンテーションの時。今まで以上に準備をし、原稿も全く見ないように心がけながらみんなに伝えるようにプレゼンができたのではないかと考えています。
ナイキの壊れていた商品の返品対応を一人で行いやり遂げた
商品が不良品だった時があり、そのことをスーパーの店員と話した時。
ホストマザーと意見が割れて話し合いをしたとき。
通学中、バスに乗っている時やバス停にいる時に3、4回道やバスを尋ねられたことがあり、自分の分かる英語を最大限に出し切り、その問題を解決したこと。突然尋ねられて、焦ってしまうこともあったが、しっかり会話もでき助けてくれたし、いい経験になった。
ホストファミリーと問題があった時、自分の想いを伝える為に手紙を書きホストファミリーの前で読み上げました。とても怖かったですが、自分の想いをしっかりと伝えることができました。

留学先大学の良かった点

大学の立地がとてもよく、授業が終わった後にカフェに行ったり買い物にいけたので良かったです。また、アデレード自体がオーストラリア人が少なく多国籍の人とたくさん出会うことができ良かったです。また、いろんな文化も吸収することができました。
キャンパスが広くてきれいで学生が勉強しやすい環境が整っていました
先生がとてもよかった。小さな悩みでも真摯に乗ってくれるし、何よりも授業が面白かったので長く感じなかった。
先生が面白いところ
ランゲージスクールだったにも関わらず大学のキャンパスの施設も全て使えたこと。
先生がとにかく優しく、フレンドリー。設備も整っており、イベントなども多い。
とてもきれいなキャンパスで大学の職員の方々もすごく優しく丁寧に通っていてとてもよかったなと思いました。